

No. 553
2017年
8月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2017年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2018年1月31日
3. 学生論文賞：2018年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金10万円／1名）

* 2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

● 2017年秋季シンポジウム（第77回）

日 程：2017年9月13日（水）

場 所：関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町）第4学舎4号館3階4301教室

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2017f/index.php/symposium/>

テーマ：「機械学習が拓く新しいビジネスの世界」

実行委員長：大西匡光（大阪大学）

共催：関西大学環境都市工学部

プログラム：

- ・開会の挨拶（12：25～12：30）
大西匡光
- ・講演1（12：30～13：10）
鷺尾 隆氏（大阪大学産業科学研究所）
「機械学習の現状と先端IoTセンシングへの適用展望」
- ・講演2（13：10～13：50）
室住淳一氏（アビームコンサルティング(株)）
「IoTにおけるモデルマネジメントを導入した人工知能・機械学習の活用例」
- ・講演3（14：10～14：50）
里村卓也氏（慶應義塾大学商学部）
「マーケティングから見た機械学習」
- ・講演4（14：50～15：30）
矢田勝俊氏（関西大学商学部，データサイエンス研究センター）
「データマイニングのビジネス応用における諸問題」
- ・講演5（15：50～16：30）
岡田克彦氏，羽室行信氏（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科・(株)Magne-Max Capital Management）
「機械学習が金融の世界をどう変えていくか。Asset Managementの現状と未来」
- ・講演6（16：30～17：10）
津本周作氏（島根大学医学部）
「医療技術へのマイニング・機械学習の応用」
- ・閉会の挨拶（17：10～17：15）
大西匡光

事前振込参加費：9/4（月）締切

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：9/4（月）締切

2017年度年会費納入済み個人正会員は、2017年秋

シンポジウムに無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、「正会員特典利用によるシンポジウム参加」を事務局宛にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsripim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2017年秋季研究発表会

日程：2017年9月14日（木）～15日（金）

場所：関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町）第4学舎2号館および同4号館

研究発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2017/>

特別テーマ：「学の実化を目指して」

実行委員長：木村俊一（関西大学）

共催：関西大学環境都市工学部

特別講演：（一般公開につき参加費無料，事前申込み不要）

日時：9月14日（木）

場所：関西大学第4学舎4号館4301教室（S会場）

講師：前田 裕氏（関西大学副学長）

題目：「学の実化から世界へ」

受賞講演：

日時：9月15日（金）

場所：関西大学第4学舎4号館4301教室（S会場）

講演1

講師：研究賞受賞者 増山博之氏（京都大学）

題目：「マルコフ連鎖—安定性のトリニティをめぐる一」

講演2

講師：研究賞受賞者 後藤順哉氏（中央大学）

題目：「ノルムを用いた最適化モデリング」

事前振込参加費：9/4(月) 締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員（非会員学生を含む）の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。（事前振込、当日お支払い同額です。）**当日受付参加費：**

正会員・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会：

会場：関西大学 凜風館2階食堂ディノア

（※発表会場の隣の建物）

日時：2017年9月14日(木) 発表会終了後

懇親会費（事前振込み）：5,000円（9月4日(月) 締切）

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。

懇親会費（当日受付）：6,000円

*当日受付には限りがありますので、なるべく事前振込みをお願いいたします。

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。

賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示：(株)NTTデータ数理システム、(株)オクトーバースカイ**協賛学会（正会員と参加費同額）：**

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsrpim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2017年春季シンポジウム（第78回）**日 程：**2018年3月14日(水)**場 所：**東海大学 高輪キャンパス**実行委員長：**朝日弓未（東海大学）**● 2018年春季研究発表会****日 程：**2018年3月15日(木)～16日(金)**場 所：**東海大学 高輪キャンパス**実行委員長：**松井泰子（東海大学）**● 2017年度中部支部シンポジウム****「準モンテカルロ法の理論とOR」****支部URL：**<http://www.orsj.or.jp/chubu/>**日 時：**2017年9月16日(土) 13:15～17:55**場 所：**ウインクあいち15階（愛知県立大学サテライトキャンパス）

名古屋市中区区名駅4-4-38

<http://www.winc-aichi.jp/access/>**シンポジウム趣旨：**

情報化社会が進んだ今日、蓄積された膨大な情報（ビッグデータ）を利活用することは必須となっている。そのような状況の中で、解析的に計算することが難しい高次元における数値積分法の必要性がますます高まっている。本シンポジウムでは、そのような高次元における積分法を実現する方法のひとつである「準モンテカルロ法」の理論とその応用をテーマとし、この分野の最前線で活躍されている研究者を招き、最新の研究成果や活用事例などを報告していただく。また、今後の研究交流の可能性を一同で模索する。

プログラム（テーマと講師）：

13:15～13:20

開会挨拶 伏見正則

13:20～14:20

「準モンテカルロ法の使い方」

諸星穂積（政策研究大学院大学）

14:30～15:30

「準モンテカルロ法の基礎から工学的応用の可能性まで」

合田 隆（東京大学大学院工学研究科）

15:40～16:40

「フィナンシャル・エンジニアリングにおける準モ

ンテカルロ法の効率化」

今井潤一（慶応義塾大学理工学部）

16:50～17:50

「64ビット高性能線形擬似乱数発生法の開発」

原瀬 晋（立命館大学理工学部）

17:50～17:55

閉会挨拶 奥田隆史, 平尾将剛（愛知県立大学情報科学部）

参加費：1,000円（ただし、学生は無料）

懇親会：シンポジウム終了後、懇親会を計画しています（予定会費5,000円）。懇親会に参加される方は、会場予約の都合上、下記の事前申し込みを必ずご利用ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

申込方法：中部支部WEBからお申込みください（締切2017年9月1日（金））。シンポジウムは当日参加も可能ですが、準備の都合上、できるだけ事前申込みにご協力ください。なお、懇親会に参加される方は、席の確保のため、事前申込みを必ずお願いします。

主催：日本OR学会中部支部

協賛：電子情報通信学会東海支部など

詳細：<http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2727>

問合せ先：OR学会中部支部研究幹事 平尾将剛

E-mail: hira@ist.aichi-pu.ac.jp

● 研究部会・グループ開催案内

〔システム信頼性〕

部会 URL：<https://sigrel.wordpress.com/>

・第4回

日時：2017年8月5日（土）14:00～

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス80年館（図書館の建物）7階角会議室

主催：システム信頼性研究部会、および、首都大学東京エネルギーインテグリティシステム研究センター共催、Research Center for Energy Integrity Systems in Tokyo Metropolitan University and Special Interest Group on Reliability of the Operations Research Society of Japan (co-organized)

テーマと講師：*各講演時間：55分（質疑応答を含む）

(1) “Reliability and Availability Modeling in Practice”
Dr. Kishor S. Trivedi (Duke University)

High reliability and availability is a requirement for most technical systems. Reliability and

availability assurance methods based on probabilistic models is the topic being addressed in this seminar. Non-state-space solution methods are often used to solve models based on reliability block diagrams, fault trees and reliability graphs. Relatively efficient algorithms are known to handle systems with hundreds of components and have been implemented in many software packages. Nevertheless, many practical problems cannot be handled by such algorithms. Bounding algorithms are then used in such cases as was done for a major subsystem of Boeing 787. Non-state-space methods derive their efficiency from the independence assumption that is often violated in practice. State space methods based on Markov chains, stochastic Petri nets, semi-Markov and Markov regenerative processes can be used to model various kinds of dependencies among system components. However, the resulting state space explosion severely restricts the size of the problem that can be solved. Hierarchical and fixed-point iterative methods provide a scalable alternative that combines the strengths of state space and non-state-space methods and have been extensively used to solve real-life problems. We will take a journey through these model types via interesting real-world examples.

(2) 「効率的な津波避難のための通行不能道路の検知」

松崎頼人（首都大学東京）

近年、地震や津波などの自然災害が頻繁に発生しており、特に津波によって多くの死者や行方不明者が出ている。このような被害を減らすためには、高台などへの迅速な避難が重要である。本研究では、迅速な避難を目的とした津波避難支援システムを提案する。本システムでは、既存の通信インフラが利用できない環境でもスマートホームシステムのホームサーバを利用してアドホックネットワークを構築することで通信環境を維持する。また、効率的な津波避難誘導を行うために、他の避難者の行動に基づく通行不能道路の検知手法を提案する。実測実験によって提案手法の有効性を評価する。

“Detection Method of Impassable Roads for Efficient Tsunami Evacuation Guidance”

Dr. Raito Matsuzaki (Tokyo Metropolitan University)

In recently, earthquake disasters are frequent, and many people die or go missing when a tsunami strikes after the earthquake. Therefore, we need to evacuate quickly to an elevated position for reducing damage. In our research, we propose the tsunami evacuation support system for efficient tsunami evacuation. This system can maintain to construct ad-hoc networks using home servers for smart homes in the case of an existing network disconnection. Moreover, we propose the detection method of impassable roads by other evacuees behavior for efficient tsunami evacuation guidance. We evaluate the proposed system by experiment.

(3) 「微分に関する線形代数的アプローチと故障率分析への応用」

林 正博 (東京都市大学)

本発表では、微分の計算を簡単な2行2列の行列を用いて実行する新たなアプローチを提案し、信頼性工学の分野における重要な応用を示す。この行列を用いるアプローチにより、微分により得られた関数の値を計算するための時間は、指数関数的増大を示さず、元の関数の場合の計算時間に比例する時間で計算可能となる。微分の計算は自然科学と工学のほとんど全ての分野で、共通的で基礎的な役割を果たしていることから、発表者は、このアプローチが信頼性工学分野のみならず、多くの分野において微分に起因する計算機使用時間の問題を解決するための突破口となると考える。

“A New Approach for Executing Differential Calculus and Application to Failure Rate Analysis”

Dr. Masahiro Hayashi

We propose a new approach to executing differential calculus using simple 2 by 2 matrices and demonstrate an important application to the reliability engineering field. This matrix approach prevents an exponential increase in computation time of the post-expression obtained by differential calculus and shows instead a linear increase.

This approach is a breakthrough for solving computation problems not only in the reliability engineering field but also in almost all science and engineering fields because differential calculus is essential to and commonly used in almost all of them.

参加費：無料

懇親会：開催予定

最新情報：http://sigrel.wordpress.com

問合せ先：田村信幸 (法政大学)

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

部会 URL：http://www.oit.ac.jp/or/

・第13回 (国際数理科学協会「確率モデルと最適化」
分科会研究会共催)

日 時：2017年8月25日(金) 13:00~17:30

場 所：大阪工業大学梅田キャンパス204セミナー室
(大阪市北区茶屋町1-45)

https://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html

テーマと講師：*各講演時間：55分 (質疑応答を含む)

13:00 開室

① 13:15~14:10

「On Bivariate Software Reliability Assessment Technologies」

井上真二 (関西大学)

ソフトウェアの信頼性を定量的に計測・評価するためのソフトウェア信頼性モデルの多くは、テスト時間のみに依存したソフトウェア故障発生現象に基づいた信頼度成長過程を記述している。本講演では、信頼度成長要因として、従来のテスト時間要因に加え、テスト網羅度などのテスト労力要因に依存したソフトウェア信頼度成長現象を記述する2変量ソフトウェア信頼性モデルについて、2つの数理モデルとそれらの実データに対する適合性評価結果を述べる。

② 14:15~15:10

「確率的ジョブショップスケジューリング問題の近似解法」

吉富康成 (京都府立大学)

(1) 不確定環境型遺伝的アルゴリズム (GAUCE),
(2) GAUCEとモンテカルロ法を組み合わせたアルゴリズム,
(3) 粒子群最適化にGAの機能を援用し、モンテカルロ法を組み合わせたアルゴリズム、と進歩してきた、確率的ジョブショップスケジューリング問題の近似解法についての著者らの研究をレビューする。

③ 15:25~16:20

「lead time quotation modelの解析」

中出康一 (名古屋工業大学)

生産者は、顧客に対し現時点での生産指示量をもとに納品に必要なリードタイムを示す。顧客は自身の待

ち時間の効用をもとに実際に購入するかどうかを決める。適切なリードタイムについて、生産時間が指数分布の場合の解析とともに、一般分布に従う場合について $Mn/G/1$ の解析結果を用いた数値実験を行う。その際必要となる残余時間分布に関する計算法について述べる。

④ 16:25~17:20

「多目的最適化問題のパレートフロンティア探索法と金融工学等への応用」

花田良子（関西大学）、仲川勇二（関西大学）

多目的非線形ナップザック（分離形離散最適化）問題の全ての有効解（パレートフロンティア）を探索するユニークな列挙解法について報告する。この列挙法は改良代理制約法（Management Science 2014）に基づいた方法で、対象とする領域の実行可能解を全て列挙することで有効解の部分集合を求める。目的関数空間上で探索領域を再帰的に分割しつつ、その領域に含まれる有効解を全列挙することで、最終的に全ての有効解が列挙される。他の代表的解法として、IBM CPLEXを用いたSayin等（Management Science 2005）と動的計画法を用いたBazgan等（Computer & Operations Research 2009）がある。これらの解法との比較実験の結果とともに、金融工学等への応用について報告する。

17:30 閉室

問合せ先：幹事 中西真悟（大阪工業大学）

E-mail: nakanisi.oit@gmail.com

〔意思決定法〕

部会 URL：http://sites.google.com/site/decisionorsj/

・第42回

日時：2017年8月31日(木) 16:00~18:00

場所：日本大学桜門会館303会議室

https://www.nihon-u.ac.jp/access_map/map/oumon/

テーマと講師：

(1) 「授業評価アンケートにおけるAHPの活用」

大山口菜都美（秀明大学）

(2) 「支配代替案法における階層化の扱い」

大屋隆生（国士舘大学）

問合せ先：西澤一友（日本大学）

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

TEL: 047-474-2664

〔確率モデルとその応用〕

〔システム信頼性〕

〔待ち行列〕

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

・4部会合同研究会～確率モデルの新展開～

日時：2017年10月7日(土)

研究会：13:00~17:50

懇親会：18:30~（予定）

会場：県立広島大学サテライトキャンパスひろしま
広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター5階
(研究会場：502大講義室)

http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/
accessmap.html

実行委員長：木村光宏（法政大学）

実行委員：塩田茂雄（千葉大学）、穴太克則、堀口正之（神奈川大学）、北條仁志（大阪府立大学）、田村信幸（法政大学）、佐久間大（防衛大学校）、来島愛子（上智大学）、吉良知文（群馬大学）、中西真悟（大阪工業大学）、土肥正（広島大学）、岡村寛之（広島大学）、齋藤靖洋（海上保安大学校）、広谷大助（県立広島大学）

主催：4研究部会「確率モデルとその応用」、「システム信頼性」、「待ち行列」、「不確実性環境下の意思決定モデリング」

協賛：日本OR学会中国・四国支部

プログラム（敬称略）

13:00 ~ 開場・受付

13:15~13:20 開会挨拶

13:20~14:50

(1) 谷口哲至（広島工業大学）

「野球における投手の分類（仮）」

(2) 大西匡光（大阪大学）

「市場価格インパクトを考慮した最適執行問題」

14:50~15:00 休憩

15:00~16:30

(3) 廣瀬英雄（広島工業大学）

「オンラインテストティングを用いた教育システムの構築とシステムの信頼性」

(4) 加藤憲一（神奈川大学）

「貸出データを用いた図書館の蔵書貸出モデルと分析」

16:30~16:40 休憩

16:40~17:40 招待講演

木島正明（首都大学東京）

「On the Market Price of Liquidity Risk and Illiquidity Index」

17:40～17:50 閉会挨拶

18:30～ 懇親会(予定)

*ご希望の方は翌日の土曜日に酒蔵見学と西条酒祭りへご案内することを検討しております。

*申込要領等はシステム信頼性研究部会WEBをご参照ください。

<https://sigrel.wordpress.com>

● 新宿 OR 研究会

〔第371回〕

日 時：2017年9月19日(火) 12:00～14:00

講 師：織田利彦氏 ((財)道路交通情報通信システムセンター研究主幹)

テーマ：「交通管制とOR」

場 所：OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円(昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 公募案内

*詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。

・ 神奈川大学工学部情報システム創成学科

学部学科等：工学部情報システム創成学科

専門分野：情報学基礎あるいは情報学の応用

職 名：特別助手又は特別助教(任期制)

人 員：2名

職務内容：

特別助手：専攻分野の研究及び教育・研究の補助

特別助教：専攻分野の研究と教育及び教育・研究の補助

応募資格：大学院博士後期課程修了者(取得見込みを含む)又は同等以上の研究業績を有する者

任 期：5年とする(本学を本務としていただきます。任期中に大学、又は大学院に在籍することはできません。)

提出書類：(1)履歴書、(2)教育研究業績書、(3)主要な著書および論文抜刷、(4)研究概要、(5)研究

計画、(6)教育に対する抱負、(7)推薦者リスト

*書式ダウンロード<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

応募締切日：2017年10月27日(金) 必着

選考方法：(1)第一次選考：書類審査、(2)第二次選考：面談(教育・研究等についてのプレゼンテーションを含む)

採否通知：2018年1月末までに採否に関する通知をします。

採用予定日：2018年4月1日

待遇給与：本学規程による

書類提出先及び問合せ先：

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学学長室気付 工学部長 林 憲玉 宛

TEL: 045-481-5661 (代)

*封筒の表に「情報学基礎あるいは情報学の応用 教員応募書類在中」と必ず朱書きし書留便にて送付。

URL: <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/06.pdf>

・ 小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員：准教授1名(任期なし)

所属組織：商学部社会情報学科(計画科学講座)

専攻分野：データサイエンス(データマイニング、データ解析、統計、機械学習、及び関連する情報処理分野など)、意思決定理論関連分野

担当科目：意思決定論、統計科学、計画数学、情報処理、応用情報論、及び学部・大学院の関連科目

応募資格：大学院博士課程修了(平成30年3月修了見込者を含む)またはそれと同等以上の研究業績がある方

着任時期：2018年4月1日

応募締切：2017年9月28日(木) 必着

応募書類：(1)履歴書(本学所定の様式による)、(2)教育研究業績表(本学所定の様式による)、(3)業績抜刷等の資料、(4)各論文の研究概要、(5)学部及び大学院の成績証明書、(6)学部の卒業証明書及び大学院の修了証明書(修了見込証明書)

選考方法：提出書類を審査のうえ、必要のある場合は面接等。

書類提出先：〒047-8501 小樽市緑3-5-21

国立大学法人 小樽商科大学長 宛

*封筒の表に「意思決定論(データサイエンス)等

担当教員応募書類」と朱書きし、郵送の場合には、書留便にて送付。

連絡先：国立大学法人 小樽商科大学総務課人事係
 TEL: 0134-27-5208 FAX: 0134-27-5213
 E-mail: jinji@office.otaru-uc.ac.jp
 URL : <http://www.otaru-uc.ac.jp/info/koubo/post-13.html>

・文教大学(システム分析)(教授・准教授・講師)

URL : https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117061318&ln_jor=0&top_btn=1

研究分野：情報学—全て、複合領域—社会・安全システム科学，社会科学—経営学

職 種：教授相当，准教授・常勤専任講師相当

勤務形態：常勤（任期なし）

応募締切：2017年09月21日(木)

・文教大学(システム開発)(教授・准教授・講師)

URL : https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117061727&ln_jor=0&top_btn=1

・文教大学(マーケティング・リサーチ)(教授・准教授・講師)

URL : https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117061731&ln_jor=0&top_btn=1

・文教大学(調査・統計)(教授・准教授・講師)

URL : https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117061729&ln_jor=0&top_btn=1

* 研究分野，職種，勤務形態，応募締切は，いずれも上記に同じ

● インターンシップ広告

・東京ガス(株)

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

実施場所：東京・神奈川を中心とした当社事業所

時 期：

長期：2017年8月21日～9月1日の5～10日間
 (テーマにより異なる)

短期：9月4日～9月5日，9月7日～9月8日，9月11日～9月12日(いれかの日程を選択)

インターン概略：2つのプログラムを用意しています。

関心のある部署のコースを選んで業務体験ができる長期インターンと，当社を支える社員との座談会や各種施設見学を通じて，東京ガスの業務を体感できる2日間のインターンです。

問合せ先：E-mail: jinzai@tokyo-gas.co.jp

TEL: 03-5400-7691

応募方法：東京ガスインターンシップHPからマイページを登録

<http://www.tokyo-gas.co.jp/recruit/intern/>

訂正とお詫び

本誌7月号p. 443(51)において，「河崎 亮(東京工業大学)」とすべきところを，誤って「河崎 亮(東京工業大学2016/4より東京理科大学)」と記載しました。謹んでお詫びし，訂正させていただきます。

2017年度第3回 ORセミナー

『ExcelソルバーではじめるOR』

本セミナーは2016年度第2回と同じ内容を多く含んでいます。

開催趣旨:「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけない」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ(OR)の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの1つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。ソルバーはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むソルバーの中にあつて、Excelソルバーは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものと言えます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ(OR)の古典的な問題を教材に、Excelソルバーでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予めExcel(2010以降可)をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

日時:2017年10月7日(土) 10:00~17:10

会場:(株)構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
東京メトロ丸の内線「新中野」駅 1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター:(株)構造計画研究所 齊藤 努

司会:中央大学 後藤順哉

定員:60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム:(敬称略)

10:00~10:05 開会挨拶

10:05~10:45 セッション1 「数理最適化とソルバー」 講師:中央大学 後藤順哉

数理最適化とは何なのか、それにおけるExcelソルバーの位置づけについて学びます。

10:45~12:15 セッション2 「Excelソルバー入門」 講師:文教大学 堀田敬介

割当問題などの簡単な数理最適化問題について、数理モデルをExcel上で表現し解く方法を身につけます。

13:00~14:30 セッション3 「0-1整数計画」 講師:文教大学 堀田敬介

集合分割問題等の数理最適化モデルをExcel上で表現する方法を学び、Excelソルバーで求解します。

14:40~15:20 セッション4 「ポートフォリオ選択」 講師:中央大学 後藤順哉

資産運用の基本である平均・分散モデルについて学び、Excelソルバーで効率的フロンティアを求めます。

15:20~16:05 セッション5 「VBAを使って便利にする」 講師:中央大学 後藤順哉

アプリケーション用プログラミング言語VBAと組み合わせてExcelソルバーを使う方法について学びます。

16:15~17:05 セッション6 「データ包絡分析法(DEA)」 講師:中央大学 後藤順哉

DEAの基本的な考え方について学び、Excelソルバーを用いて実現する方法について学びます。

17:05~17:10 閉会挨拶

17:10~ 「個別相談・質問コーナー」 講師:中央大学 後藤順哉, 文教大学 堀田敬介

参加費(テキスト代込み):正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員 20,000円。

ORセミナー参加者特典:正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2017年度と2018年度の年会費は免除されます。

申込方法:メールタイトル「第3回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員、お支払予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先:日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込およびお振込み締切:2017年9月29日(金)

振込先:みずほ銀行:根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名:公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額):日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(Jsrpim), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>をご参照ください。

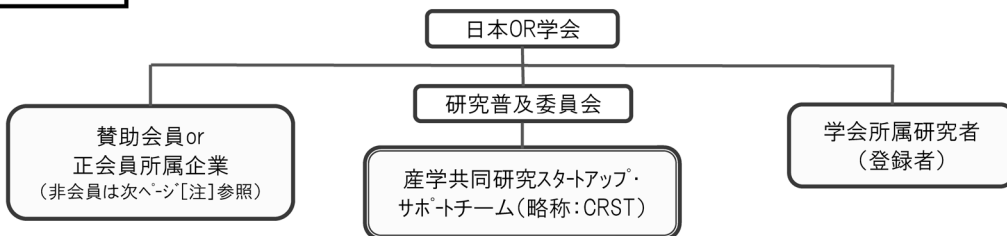
産学共同研究スタートアップ・サポート事業について

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
産産活用委員会、研究普及委員会

趣旨

ORの大きな特徴は、現実課題を数理的なアプローチによって解決し、実際に効果を得ることにあります。この観点から、日本OR学会では現実の課題(ニーズ)を抱える産業界と、数理的方法論(シーズ)を研究する大学等研究者との間の連携を促進していくことが一つの重要な使命であると認識しています。この度、産業界の会員企業が実際のビジネスで抱える課題を大学等研究者と共同研究する機会を増やしていくことを目指し、ニーズに合った共同研究先を見つける相談窓口を設置することといたしました。本趣旨をご理解いただき、会員の皆様の積極的なご利用を賜りますよう、お願い申し上げます。

組織スキーム



実行プロセス

ph	共同研究希望企業	CRST	共研受託候補研究者
準備		研究者リスト更新	研究者登録
申込	共同研究相談申込	内容確認・受理	
仲介面談	課題説明 <small>OR・共同研究に不向きと判断する場合お断りすることもあります。</small>	ヒアリング 共同研究妥当性の粗確認 共同研究先候補選定 受託打診	受託可能性確認 受託回答
	仲介結果受理	共同研究先回答	
FS	FSミーティング実施	(要請に応じてCRSTも同席)	FSミーティング実施
共同研究開始	共同研究契約締結 結果連絡 (共同研究実施)	仲介実績更新	共同研究契約締結 (共同研究実施)

企業の皆さまへ

- ・本制度の利用資格は、賛助会員企業か正会員が所属する企業の方とします。
[注]非会員でも相談を受け付けますが、共同研究契約締結時には資格を取得するようお願いいたします。
- ・企業内での現実課題について大学等研究者との共同研究を希望し、共同研究先を見つけられない場合にこのCRST(仲介相談窓口)をご利用ください。
- ・相談申込みは以下の方法で行ってください。
 - ①日本OR学会のホームページから以下のサイトで相談申込用紙をダウンロードする。
「日本OR学会HP」→「会員の方へ」→「産学共同研究サポート」(ここにダウンロードボタン有り)
 - ②相談申込用紙に必要事項を記入の上、以下の宛先に添付送信する。
CRSTメールアドレス: crst@orsj.or.jp
- ・CRSTは無料で対応しますが、共同研究先を紹介した後の、大学等研究者との共同研究実行フェーズは、基本的に大学等との契約に基づき、必要に応じた研究開発費用を負担していただきます。
- ・CRSTとの相談時における企業情報の取り扱いに関しましては、日本OR学会として以下の方針で取り組みますが、NDA(秘密保持契約)を結ぶものではありません。その範囲で課題の説明などをお願いします。

《企業情報取扱方針》

- ・CRSTの相談対応メンバーは、相談過程で得た情報について以下を除き、他者に開示しない。
 - ・相談を受けている企業名については学会理事会&研究普及委員会内で開示可とする。
 - ・共同研究候補者選択のため、CRST及び共同研究候補研究者には課題内容について開示することを認める。(開示を受けた人は、それ以外の人に開示しない。)
 - ・なおCRSTの相談対応メンバーは、希望により大学所属委員で構成する。
- ・上記内容は学会及び本企画に関わる者の行動指針であり、秘密保持契約(NDA)を結ぶことはしない。万が一問題が生じても、学会及び会員への損害賠償などには応じない。
- ・なお、共同研究に進んだ後の秘密情報や成果物の扱いは、企業と大学との間での取り決め(共同研究契約)によるものとする。

大学等研究者の皆さまへ

- ・本制度の利用資格は、賛助会員機関に属するものか正会員とします。
- ・趣旨に賛同いただける皆様で、まだ研究者登録がお済みでない方は、以下の研究者登録Webサイトにて登録をお願いします。
研究者登録Webサイト: <https://goo.gl/forms/WraVdHeU3kSFoccn2>
- ・CRSTから、共同研究の打診がありましたら、前向きにご検討下さい。もし自分の研究領域とは不適合で、対応が不可能と判断される場合でも、適任者をご存知の場合はCRSTまでご連絡ください。

以上

第29回RAMPシンポジウム

RAMPシンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会（RAMP: Research Association of Mathematical Programming）によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：2017年10月12日(木)、13日(金)

会 場：筑波大学春日講堂

RAMP主査：土谷 隆（政策研究大学院大学）

実行委員長：吉瀬章子（筑波大学）

プログラム委員長：佐野良夫（筑波大学）

共 催：筑波大学人工知能科学センター <https://air.tsukuba.ac.jp/>

参加申込：8月21日(月)より受付開始。RAMP2017HPから<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~ramp/index.html>

シンポジウム参加費：

事前振込（9月30日(土)まで）：正・賛助会員¥5,000、学生¥2,000、非会員¥8,000

当日払い：正・賛助会員¥7,000、学生¥3,000、非会員¥10,000

懇親会参加費（事前振込・当日払いとも）：一般¥5,000、学生¥2,000

【プログラム】 *セッション名・講演題目・講演順序は現在調整中です。

10月12日(木)

受付 9:20～、開会の挨拶 9:50～10:00

1. **「機械学習と最適化」** 10:00～13:00 オーガナイザー：後藤順哉（中央大学）
竹内一郎（名古屋工業大学）、高野祐一（専修大学）、鈴木大慈（東京大学）

〈昼食 13:00～14:15〉

2. **「特別講演1」** 14:15～15:15 オーガナイザー：土谷 隆（政策研究大学院大学）
Guanghui (George) Lan (Georgia Institute of Technology)

3. **「タイムテープリングと最適化」** 15:30～18:30 オーガナイザー：池上敦子（成蹊大学）
野々部宏司（法政大学）、繁野麻衣子（筑波大学）、番原睦則（神戸大学）、菅原孝幸（菅原システムズ）

〈懇親会 19:00～（予定）〉

10月13日(金)

受付 9:00～

4. **「連続最適化アルゴリズムの新展開」** 9:30～12:30 オーガナイザー：福田光浩（東京工業大学）
福田エレン秀美（京都大学）、飯塚秀明（明治大学）、村松正和（電気通信大学）

〈昼食 12:30～13:30〉

5. **「特別講演2」** 13:30～14:30 オーガナイザー：土谷 隆（政策研究大学院大学）
Coralia Cartis (University of Oxford)

6. **「離散アルゴリズムとその周辺」** 14:45～17:45 オーガナイザー：小林佑輔（筑波大学）
前原貴憲（理化学研究所）、相馬 輔（東京大学）、山内由紀子（九州大学）

閉会の挨拶 17:45～

RAMP2017HP：<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~ramp/index.html>

数理計画（RAMP）研究部会HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

2017年度年会費納入のお願い

2017年度（2017年3月1日～2018年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの払込取扱票は、2017年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 ｼﾞｬ ﾈﾝﾝ ﾈ ﾚｼﾞｮﾝｽ ﾚﾘｻｰﾁ ｶﾞｯｶｲ
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：(公社)日本オペレーションズリサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九(ゼロイチキユウ) (店番号019) 当座 0079492 口座名：(公社)日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担をお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2017年1月20日に「2017年度年会費」を引き落としさせていただきました。

2017年3月ご卒業の学生会員の方へ

- 1) **ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。
2017年度の会費はそのままです。2017年11月に2018年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) **退会希望の方へ**
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ① WEBからの入会申込み
- ② 入会金600円のお振込み
- ③ 指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。